

会計名			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。			主たる内容	○文化財の保存管理に関する業務 ○パンフレット「歴史の小径」の作成 ○歴史資料等の購入事前調査及び購入				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史の小径」の改定及び増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修 中止</li> <li>歴史資料等の購入</li> <li>全国史跡整備市町村協議会参加 中止</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史の小径」の改定及び増刷</li> <li>歴史資料等の購入事前調査及び購入</li> <li>全国史跡整備市町村協議会参加 中止</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史の小径」の増刷</li> <li>歴史資料等の購入事前調査及び購入</li> <li>全国史跡整備市町村協議会参加</li> <li>指定文化財報告書の作成準備</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史の小径」の増刷</li> <li>歴史資料等の購入事前調査及び購入</li> <li>愛知県史跡整備市町村協議会参加</li> <li>指定文化財報告書の作成</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の小径パンフレット「東海道編」、「城下町周辺編」、「鎌倉街道編」等を増刷することで、文化財の啓発や史跡めぐりに生かすことができた。</li> <li>刈谷に関わりのある貴重な歴史資料を購入することができた。</li> </ul>								
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活性化させていく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）				30.0	—	30.4	31.3	33.1
指標										
他市との比較検証		管理する指定文化財の数や種類が市町村ごとに異なるため、他市との比較は難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		793	2,119	3,891	3,810	合計 3,891,394 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	479,480 円		
		一般財源	793	2,119	3,891	3,810	旅費	75,780 円		
	職員人件費 ②		859	1,196	1,114	1,133	需用費	338,360 円		
	総事業費（①+②）		1,652	3,315	5,005	4,943	役務費	3,060 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								
						委託料	187,000 円			
						備品購入費	2,757,714 円			
						負担金、補助及び交付金	50,000 円			

会計名			文化財保存管理事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	文化財を保護保存し未来へ伝えていく事業であり、文化財保護法に規定されている法的業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	各種パンフレットについては、印刷製本費のコスト削減を目指し、ホームページ上から閲覧・印刷できるようにしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	文化財の適切な保護や保存は長期的な視点が求められており、愛知県文化財室や刈谷市文化財保護審議会委員と連携をとって行う必要があることから、市が主体となるべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	文化財の啓発普及を図ることで、成果指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を増加させていき、郷土の魅力を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を高めることに繋げていくため、パンフレット「歴史の小径」などを活用し、市民に地域の文化財の啓発普及に努める。 また歴史博物館を核として、企画展などを通じて地域に眠っている魅力ある文化財の掘り起こしを行い、活用を図る。					

会計名 一般会計			伊勢物語とかきつばた展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	企画展「伊勢物語とかきつばた」を開催し、刈谷市の花でもあるカキツバタを全国的に有名なものとしている伊勢物語を取り上げ、学ぶ機会を提供する。また、他市から資料を借用し、より具体的かつ視覚的に学びを得る場を提供する。				主たる内容	○企画展の開催 会期 令和4年4月23日～6月5日（38日間） 入場料 一般（高校生以上） 500円 中学生以下・障害者 無料			
	位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画 根拠法令 文化財保護法、博物館法								
	対象者	対象を限定せず			事業期間	令和4年度 ～ 令和4年度				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		_____		_____		・講演会 2回 ・展示説明会 1回 ・講座 1回 ・ギャラリートーク 2回 ・歴史体験イベント 1回		_____		
		成果	・国立博物館の貸与促進事業を受けることができたため、全体の事業費を削減することができた。また、文化財活用センターによる広報の協力も得られたため、全国的に宣伝を行うことができた。 ・国の所有している重要文化財を借用展示することができ、公開承認施設の前提となる借用実績を積むことができた。							
課題		図録を制作したが、販売冊数が見込数を大幅に下回り、在庫を抱えることとなった。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		入場者数（人）			—	—	2,819	—	—	
活動指標		来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）			—	—	96.0	—	—	
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、当館との比較は難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	8,194	0	合計	8,194,229 円		
	財源	特定財源	0	0	1,097	0	報酬	1,050,653 円		
		一般財源	0	0	7,097	0	報償費	99,080 円		
	職員人件費 ②		0	0	3,185	0	旅費	155,010 円		
	総事業費（①+②）		0	0	11,379	0	需用費	23,416 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称		役務費		765,000 円
		4年度までの累積事業費		0		入場料、冊子等頒布収入		委託料		6,101,070 円
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			伊勢物語とかきつばた展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	国立博物館の貸与促進事業に選出されたことで、展示の一部を国立文化財機構の費用負担により行うことができ、コストの削減につながった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市立の博物館において魅力ある企画展を開催することは、郷土の歴史への愛着を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	重要文化財や、遠方の他館で所蔵されている普段は目に触れることのできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては一定のコストがかかるため、展示内容によっては入場料を設定し、一部受益者負担によって賄う。					

会計名 一般会計			TSUNAGU展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	企画展「TSUNAGU-甦るモノたち-」を開催し、歴史博物館の館蔵資料や市内文化財のうち、修復を行った資料を中心に展示を行うことで、博物館の骨子である資料の「保存」について学ぶ機会を提供する。 また、複製資料の展示も行い、原本公開による活用が難しい資料へのアプローチとしての複製という視点を提示する。				主たる内容	○企画展の開催 会期 令和4年7月16日～9月4日（44日間） 入場料 無料			
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	文化財保護法、博物館法								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和4年度 ～ 令和4年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		_____		_____		・講演会 1回 ・修復体験ワークショップ1回 ・落語会イベント 1回 ・ギャラリートーク 4回 ・歴史体験イベント 1回 ・会期中クイズラリーを実施		_____		
成果		資料の修復方法や実際に修復に使用する道具を展示することで、なかなか触れる機会のない博物館の活動について紹介できた。また、利用者アンケートの結果から、60%以上の入場者に「とてもよかった」と評価された。								
課題		企画展の広報方法や、チラシ等の印刷物等の作成数についての反省点を、今後の効果的かつ効率的な運営に活かしていきたい。								
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、当館との比較は難しい。								
C 事業コスト	単位：千円	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (決算)	5年度 (予算)	4年度 事業費内訳				
	事業費 ①	0	0	3,564	0	合計	3,564,253 円			
	財源	特定財源	0	0	26	0	報酬	680,978 円		
		一般財源	0	0	3,538	0	報償費	122,280 円		
	職員人件費 ②	0	0	2,583	0	旅費	11,340 円			
	総事業費 (①+②)	0	0	6,147	0	需用費	823,455 円			
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)	0		4年度特定財源名称					
4年度までの累積事業費		0		講座受講料						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			TSUNAGU 展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐと共に、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市立の博物館において魅力ある企画展を開催することは、郷土の歴史への愛着を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	過去同時期に開催した企画展より、来館者アンケートの満足度が向上し、多くの市民の興味をひくことができた。また、博物館の「保存」という紹介することがあまりない役割を提示することで、「資料を後世に残すこと」という文化財保護への関心を高めることができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。歴史博物館の館蔵資料や市内文化財を活用した企画展を定期的実施することを検討していく。					

会計名 一般会計			深溝松平家展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	企画展「深溝松平家展-家忠・忠利・忠房と刈谷-」を開催し、刈谷藩主を務めた忠房や刈谷ゆかりの水野家と関係の深い家忠・忠利について学ぶ機会を提供する。			主たる内容	○企画展の開催 会期 令和4年10月8日～11月20日 (38日間) 入場料 一般(高校生以上) 500円 中学生以下・障害者 無料				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法、博物館法						
			対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和4年度 ～ 令和4年度			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		—		—		・講演会 2回 ・展示説明会 1回 ・スポット解説 4回 ・「家忠日記」挿絵パネル展示 ・子ども向けイベント 1回 ・会期中クイズラリーを実施		—		
成果		重要文化財を借用・展示し、公開承認施設認定に必要な実績を積み重ねるとともに、多くの市民に文化財の質の高さや歴史的価値を伝えることができた。刈谷の歴史として認知されていない歴史的事実を市民に示すことができた。								
課題		企画展の運営方法において、より時間効率の良い進め方を検討する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	入場者数（人）		—		—	—	1,918	—	—	
活動指標	来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）		—		—	—	80.3	—	—	
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、当館との比較は難しい。								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	10,203	0	合計	10,203,043 円		
	財源	特定財源	0	0	1,009	0	報酬	1,113,721 円		
		一般財源	0	0	9,194	0	報償費	100,540 円		
	職員人件費 ②		0	0	3,185	0	旅費	210,990 円		
	総事業費（①+②）		0	0	13,388	0	需用費	1,696,522 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		入場料、冊子等頒布収入						
6年度以降の事業費見込		0								
						委託料	6,437,080 円			
						使用料及び賃借料	15,540 円			

会計名			深溝松平家展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐと共に、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市立の博物館において魅力ある企画展を開催することは、郷土の歴史への愛着を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	重要文化財や、遠方の他館で所蔵されている普段は目に触れることのできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては一定のコストがかかるため、展示内容によっては入場料を設定し、一部受益者負担によって賄う。					



会計名 一般会計			参加・体験型歴史文化教育普及事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	13					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	市民が歴史文化を学ぶ機会を創出し、郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育む。			主たる内容	○市内中学1年生向けの歴史博物館見学 ○歴史体験講座の開催 ○簡単工作の実施 ○甲冑試着体験の開催 ○古文書解説講座の開催			
	位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画 根拠法令 社会教育法、博物館法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・市内中学1年生見学 中止 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験 中止 ・ミュージアムシアター開催		・市内中学1年生見学 1,177人 中止1校 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・ミュージアムシアター開催 ・甲冑まつり開催 ・古文書解説講座の開催		・市内中学1年生見学 6校 1,296人 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・ミニシアターの上映 ・マジックショーの開催 ・古文書解説講座の開催		・市内中学1年生見学 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・古文書解説講座の開催 ・開館5周年記念イベント	
		成果	・簡単工作にポイントカードを導入したことにより継続的な来館を促すことができ、来館者数の増加に繋がった。 ・歴史体験講座をはじめ利用者のニーズにあった講座、イベント内容の選定を行うことによりアンケート結果においても満足度の高いイベント開催することができた。						
課題		各回の定員が少ないので抽選に漏れてしまう方が多いが、会場規模が限られる中での工夫が必要である。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
成果指標	簡単工作参加者数（人）	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
成果指標	歴史体験講座受講者数（人）	1,172	1,584	2,502	2,600	2,600			
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①	1,143	3,158	5,199	5,475	合計	5,198,595 円		
	財源	特定財源	28	191	424	543	報償費	100,000 円	
		一般財源	1,115	2,967	4,775	4,932	旅費	42,100 円	
	職員人件費 ②	1,045	4,944	5,180	6,797	需用費	849,155 円		
	総事業費（①+②）	2,188	8,102	10,379	12,272	委託料	2,019,000 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		簡単工作参加料、講座受講料					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			参加・体験型歴史文化教育普及事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	博物館における教育普及活動は、博物館法第3条において博物館が行う事業の一つとして明記されており、必要性の高い事業である。また、中学校学習指導要領（社会科）において、「博物館、郷土資料館などの地域の施設の活用」が挙げられており、学校教育上必要な事業でもある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	普通	学校見学については、指導主事と学芸員が連携して行い、継続して実施することで質の向上に努めている。また、歴史体験講座等については、多様なサービスを提供する観点から業務委託による運営を行っており、最大の効果を出せる状況にある。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	学校見学においては、現場を熟知している指導主事が学校と博物館の橋渡し役を務めている。また、歴史体験講座等においても学芸員の経験等が求められることから、市が主体となって実施するのが妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	教科書に載っていない地域の歴史を伝える施設は市内においても他にあるが、刈谷の歴史を総合的に伝える施設は博物館以外になく、市民に地元への愛着を持つ機会を提供する役割が期待されている。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
博学連携に関して、学校では体験できない博物館ならではの体験学習の支援を今後も行っていく。また、令和5年度に施行される改正博物館法を踏まえた、インターネットやデジタル端末の活用を進めていく必要がある。					

会計名 一般会計			市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部			
款	項	目					担当課	歴史博物館			
10	5	1					担当係	歴史博物館			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用								
	目的	歴史に関わる資料の調査・整理を行うことで、歴史資料の保存と活用を図る。			主たる内容	市内外における歴史資料を調査・整理し、目録を作成する。					
	位置づけ	関連計画									
			根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成7年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画			
		・資料調査の実施 14回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 16回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 16回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理			
成果		・資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理を進めることができた。 ・整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 ・マイクロフィルムの紙焼きを進め、市民が閲覧できる環境を整えた。 ・新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。 新しく収集した資料が多く、今後その整理と内容の分析を行う必要がある。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標		調査回数（回）			14	16	16	15	15		
活動指標											
他市との比較検証		名古屋市や安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。									
C 事業コスト V		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		5,649	7,578	8,771	9,619	合計	8,771,039 円			
	財源	特定財源	76	140	65	31	報酬	5,049,204 円			
		一般財源	5,573	7,438	8,706	9,588	職員手当等	1,022,730 円			
	職員人件費 ②		2,389	3,240	3,900	3,965	旅費	54,340 円			
	総事業費（①+②）		8,038	10,818	12,671	13,584	需用費	2,428,815 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称					
4年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入							
6年度以降の事業費見込		0									

会計名			埋蔵文化財調査整理事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	歴史博物館			
款	項	目					担当係	歴史博物館			
10	5	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用								
	目的	埋蔵文化財の保存・活用を図る。			主たる内容	試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した遺物および調査記録を整理・保存する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
			根拠法令	文化財保護法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画			
		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 408件 ・試掘・確認調査 25件 ・工事立会 22件 ・緊急発掘調査 1件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 563件 ・試掘・確認調査 23件 ・工事立会 20件 ・緊急発掘調査 0件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 591件 ・試掘・確認調査 34件 ・工事立会 31件 ・緊急発掘調査 1件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 500件 ・試掘・確認調査 30件 ・工事立会 30件 ・緊急発掘調査 2件			
成果		緊急発掘調査として半崎貝塚の発掘調査を迅速に行うことができた。また松根第3号窯の確認調査では愛知教育大学や調査協力を得た愛知学院大学生と調整を図り、計画的かつ迅速に調査を実施できた。試掘調査では、依佐美工業団地の開発に伴い、関係する課や委託業者と調整を図り、状況に対応しながら行うことができた。試掘・確認調査の出土遺物についてはすべて1次整理まで実施し、令和5年度刊行の報告書宮東第1号貝塚については2次整理まで進めることができた。									
課題		文化財保護法に基づく発掘届が提出されないまま工事が着手されてしまった事例があったため、埋蔵文化財の取扱い手続きの周知については今後も継続して力を注いでいく必要がある。									
	指標名称（単位）				実績値		目標値				
		2年度	3年度	4年度	5年度	7年度					
活動指標	1次整理作業実施率（％）	100	100	100	100	100					
活動指標	2次整理作業実施件数（件）	2	2	2	2	2					
	他市との比較検証	・安城市では、埋蔵文化財の有無照会をはじめとする業務を基本的に歴史博物館で行っている。また、博物館では展示等を行う学芸係と発掘調査を含む文化財調査を行う文化財係に分かれている。 ・西尾市では、遺跡地図をGISで公開している。									
C 事業 コスト	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳					
	事業費①	10,553	12,022	12,935	15,472	合計	12,934,559円				
	財源	特定財源	11	1,027	8	53	報酬	6,713,424円			
		一般財源	10,542	10,995	12,927	15,419	職員手当等	817,062円			
	職員人件費②	3,098	6,950	8,418	8,557	報償費	22,400円				
	総事業費（①+②）	13,651	18,972	21,353	24,029	旅費	191,490円				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称				需用費	102,201円		
	4年度までの累積事業費	0		冊子等頒布収入				役務費	372円		
	6年度以降の事業費見込	0						委託料	5,087,610円		

会計名			文化財保存事業費補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	市指定文化財を適正に保存・管理し、文化財を後世に伝える。			主たる内容	国、県、市指定文化財の保存、管理に要する経費について、文化財の所有者又は管理者に対して補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱						
		対象者	指定文化財の所有者			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助		・市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助 ・市指定文化財「野田村古文書」を保管する野田史料館に対する修繕料の補助 ・市指定史跡「松本奎堂碑」の環境整備に対する補助 ・市指定史跡「土井家廟所」の環境整備に対する補助		・市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助 ・市指定史跡「井ヶ谷古窯跡群」の構成要素の一つである「松根第3号窯」の遺構保存処理及び除草業務に対する補助		
成果		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復及び市指定史跡「松本奎堂碑」ならびに「土井家廟所」の環境整備に対して事業費の2/3を補助するとともに、市指定文化財「野田村古文書」の保管施設である野田史料館の修繕に対して事業費の1/2を補助することで、いずれも貴重な文化財を良好な状態で後世に残すことができるよう支援することができた。								
課題		個人や団体等が所有する指定文化財の適正な管理・保存のため、保存状態等を把握し、聞き取りや助言を行う機会を増やす必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		補助件数（件）			1	1	4	2	—	
指標										
他市との比較検証		近隣市の市指定文化財保存事業費補助金交付割合 ・文化財収蔵施設の建設（改修含む） 安城市… 1/3以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…1000万円以内 ・無形民俗文化財の道具の修繕 安城市…10/10以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…上限なし								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		108	80	3,020	806	合計 3,020,291 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 3,020,291 円			
		一般財源	108	80	3,020	806				
	職員人件費 ②		112	136	211	214				
	総事業費（①+②）		220	216	3,231	1,020				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費			0							
6年度以降の事業費見込			0							

会計名		史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	歴史博物館		
款	項					目	担当係	歴史博物館	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が本市の文化財や歴史に気軽に触れ、学ぶことができる機会を提供することで、文化財の活用と歴史の啓発を図る。	主たる内容	○史跡めぐりの開催（年3回） ○市内学校の授業等に伴う歴史文化の学習支援					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	社会教育法、博物館法						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・史跡めぐり案内（2回：野田・半城土コース、重原コース※新型コロナウイルスの影響で1回は中止） ・小学3年生体験学習における案内、説明 中止		・史跡めぐり案内（1回：築地・恩田コース※新型コロナウイルスの影響で2回は中止） ・小学3年生体験学習における案内、説明 中止		・史跡めぐり案内（3回：城下町コース、鎌倉街道コース、小垣江コース） ・小学3年生体験学習における案内、説明		・史跡めぐり案内（3回：井ヶ谷コース、元刈谷コース、一ツ木コース） ・小学3年生体験学習における案内、説明	
成果		刈谷ふるさとガイドボランティアの会会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心を持って活動している結果、毎回定員を上回る応募があり、アンケートの結果からは9割以上の参加者から「また参加したい」との評価を得た。							
課題		参加者の増加に伴い、駐車スペースの確保が課題となってきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標		史跡めぐりの参加者数（人）		87	42	155	150	150	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		30.0	—	30.4	31.3	33.1	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		182	143	181	182	合計	181,255 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,255 円	
		一般財源	182	143	181	182	委託料	172,000 円	
	職員人件費 ②		448	628	550	559			
	総事業費（①+②）		630	771	731	741			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			発掘調査報告書作成事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	これまでに市内で実施した遺跡の発掘調査について、報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般に公開し、本市の歴史研究の一助とする。				主たる内容	検出遺構や出土遺物に関する記述や考察等の文章データや画像データの作成・編集と報告書の印刷を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		本刈谷貝塚発掘調査報告書刊行		中手山貝塚発掘調査報告書刊行		・井ヶ谷古窯跡群分布調査報告書刊行 ・刈谷城跡報告書作成業務委託		・刈谷城跡報告書刊行 ・宮東第1号貝塚発掘調査報告書刊行		
成果		令和3年度に分布調査を実施した井ヶ谷古窯跡群の成果を広く一般に公開することができた。								
課題		現在は作業スペースや人員の制約で一年度中に1冊の報告書を刊行しているが、未報告のものが多くあるため、刊行のペースアップのために業者への委託を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		報告書刊行数（冊）			1	1	1	2	2	
活動指標		報告書頒布部数（冊）			4	12	5	10	10	
他市との比較検証		安城市や豊田市では、発掘調査後数年の内に複数の報告書を刊行している。 ・安城市の令和4年度報告書刊行数 2冊 ・豊田市の令和4年度報告書刊行数 2冊								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,676	1,647	10,106	11,148	合計	10,105,690 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	470,250 円		
		一般財源	1,676	1,647	10,106	11,148	役務費	92,940 円		
	職員人件費 ②		3,024	6,874	9,095	8,481	委託料	9,542,500 円		
	総事業費（①+②）		4,700	8,521	19,201	19,629				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	歴史博物館を適正に維持管理することで、施設の環境を最適に保つ。			主たる内容	建物清掃委託や諸整備の管理業務委託など歴史博物館の維持管理を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	博物館法、文化財保護法、刈谷市歴史博物館条例						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>建物清掃委託</li> <li>空調設備保守管理業務委託</li> <li>自動制御設備保守管理業務委託</li> <li>消防用設備保守管理業務委託</li> <li>エレベーター保守管理業務委託</li> <li>ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>建物清掃委託</li> <li>空調設備保守管理業務委託</li> <li>自動制御設備保守管理業務委託</li> <li>消防用設備保守管理業務委託</li> <li>エレベーター保守管理業務委託</li> <li>ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>建物清掃委託</li> <li>空調設備保守管理業務委託</li> <li>自動制御設備保守管理業務委託</li> <li>消防用設備保守管理業務委託</li> <li>エレベーター保守管理業務委託</li> <li>ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>建物清掃委託</li> <li>空調設備保守管理業務委託</li> <li>自動制御設備保守管理業務委託</li> <li>消防用設備保守管理業務委託</li> <li>エレベーター保守管理業務委託</li> <li>ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等</li> </ul>		
成果		施設、設備等を適切に維持管理することで、歴史資料や文化財を適切に保存・管理することができるとともに、市民に快適な鑑賞環境を提供することができた。								
課題		文化財保管のため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。								
O 実施		指標名称（単位）				実績値			目標値	
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
	成果指標	総入館者数（人）			22,164	29,062	30,154	31,000	32,800	
	活動指標									
C 事業コスト	他市との比較検証									
	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		38,065	42,457	53,769	53,022	合計	53,768,733 円		
	財源	特定財源	106	50	97	105	需用費	24,631,383 円		
		一般財源	37,959	42,407	53,672	52,917	役務費	422,984 円		
	職員人件費 ②		3,509	4,088	4,518	4,516	委託料	21,745,703 円		
	総事業費（①+②）		41,574	46,545	58,287	57,538	使用料及び賃借料	93,663 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入						
6年度以降の事業費見込		0								



会計名			収蔵・展示等管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	展示・収蔵品および設備の管理を行うことで、展示品・収蔵品の劣化を防ぐとともに、地域の人々に歴史文化の魅力を提供する。			主たる内容	○歴史ひろば機器保守点検委託 ○お祭りひろば山車・万燈保守管理委託 ○燻蒸業務委託 ○文化財什器製作業務委託 ○展示品・収蔵品撮影委託 ○刀剣類保存作業業務委託				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	博物館法、文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱13件 掛軸収納箱33件 ・展示品・収蔵品撮影委託 刀剣ほか 16件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱14件 屏風収納箱 1件 ・展示品・収蔵品撮影委託 奈良絵本伊勢物語ほか 9件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 1回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱 3件 古典籍等用収納箱17件 ・展示品・収蔵品撮影委託 静観堂屏風ほか 8件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱14件 掛軸収納箱12件 ・展示品・収蔵品撮影委託 刀剣ほか 10件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等		
成果		・文化財什器である刀剣や甲冑の収納箱の製作により、これまで梱包されていなかった資料を箱に納めることができ、資料の劣化を防ぐことができた。 ・刀剣類保存作業において、錆等により展示に堪えられなかった刀剣の研磨および保存用白鞘等の製作を行うことで、今後の展示等で活用できる状態になった。								
課題		計画的な撮影スケジュールを策定し、今後の研究や文化財活用に利用できるように画像データを整える必要がある。								
O 実施		指標名称（単位）				実績値			目標値	
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
	活動指標	文化財什器製作数（件）			46	15	20	26	20	
	活動指標	展示品・収蔵品撮影（件）			16	9	8	10	10	
	他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		4,329	3,986	4,727	5,195	合計	4,727,250 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	409,690 円		
		一般財源	4,329	3,986	4,727	5,195	役務費	48,730 円		
	職員人件費 ②		784	1,196	1,190	1,209	委託料	4,268,830 円		
	総事業費（①+②）		5,113	5,182	5,917	6,404				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名		<p style="text-align: center;"><b>収蔵品補修事業</b></p>				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	歴史博物館		
款	項					目	担当係	歴史博物館	
10	5					13			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市が所有している文化財の修繕を行い、文化財を後世に伝える。	主たる内容	歴史博物館の所蔵資料の修復を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和2年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		所蔵資料4点の修復を行った。 ・掛軸「松本奎堂他書幅」 ・掛軸「土井利祐書幅」 ・掛軸「三浦明次書幅」 ・屏風「月僊図屏風」		所蔵資料3点の修復を行った。 ・掛軸「大正新田開墾の沿革」 ・掛軸「澤梅谷筆山水図」 ・掛軸「稲垣錦莊筆百事大吉図」		所蔵資料2点の修復を行った。 ・屏風「都築華城筆山水図屏風」 ・扁額「千卷舎扁額」		収蔵資料2点の複製を製作する。 ・額装「松本奎堂肖像画」 ・額装「宍戸弥四郎肖像画」	
成果		所蔵資料の修復を行い、市民の財産である文化財を将来へ継承するとともに、展示が可能となった。							
課題		市が所蔵する歴史資料の保存状態を調査し、把握する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		収蔵品修復件数（件）		4	3	2	2	3	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,924	938	1,546	1,345	合計	1,545,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,545,500 円	
		一般財源	4,924	938	1,546	1,345			
	職員人件費 ②		411	439	437	367			
	総事業費（①+②）		5,335	1,377	1,983	1,712			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			<p style="text-align: center;"><b>収藏品管理システム管理事業</b></p>				担当部	市民活動部
一般会計							担当課	歴史博物館
款	項	目					担当係	歴史博物館
10	5	13						
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	歴史・文化財					
		施策の内容	歴史博物館の整備					
	目的	歴史博物館の収藏品を適切に管理する。		主たる内容	歴史博物館の収藏品管理システムを管理・運用する。			
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
	根拠法令	博物館法						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和元年度 ~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画
		<ul style="list-style-type: none"> <li>収藏品管理システムによる収藏品データの公開</li> <li>収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の導入及び展示解説</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>収藏品管理システムによる収藏品データの公開</li> <li>収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」による展示解説に音声ガイドを追加した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>収藏品管理システムによる収藏品データの一部公開</li> <li>収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の展示解説及び音声ガイドの公開</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>収藏品管理システムによる収藏品データの一部公開</li> <li>収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の展示解説の更新</li> <li>収藏品データの充実化</li> </ul>
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者閲覧向けデータベースの整理を行い、来館者の利便性向上に寄与することができた。</li> <li>ポケット学芸員による詳しい展示解説と音声ガイドを公開することで、刈谷の歴史を利用者にわかりやすく提供することができた。</li> </ul>						
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の歴史資料及び考古資料の情報が整理しきれていないため、引き続き整理を進める必要がある。</li> <li>現在収藏品管理システムは館内端末でしか閲覧できないため、ホームページ等で公開し、更に利用者の利便性を向上していく必要がある。</li> </ul>						
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値		
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
	活動指標	資料閲覧者数（人）	100	143	125	180	230	
	活動指標							
他市との比較検証	改正博物館法では第3条第1項に定める博物館の事業に「博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること」が追加され、デジタル技術を活用した博物館資料のデジタルアーカイブ化とその管理及び活用のため、デジタル化に取り組むこととされており、各市町の博物館が取り組みを進めている。知多市歴史民俗博物館が当市と同様のシステムを導入している。							
C 事業 コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		580	830	516	521	合計 516,120 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 96,360 円	
		一般財源	580	830	516	521	委託料 23,760 円	
	職員人件費 ②		784	515	512	520	使用料及び賃借料 396,000 円	
	総事業費（①+②）		1,364	1,345	1,028	1,041		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称		
4年度までの累積事業費		0						
6年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	次年度以降の企画展開催に向けた資料調査・借用交渉及び次年度春の企画展の印刷物制作を行うことで、事業の円滑な遂行を図る。				主たる内容	○次年度春の企画展のポスター・チラシ・図録のデザイン作成及び印刷 ○次年度以降企画展の資料調査及び借用交渉			
	位置づけ	第2次文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	博物館法								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和3年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度春季企画展の図録・ポスター・チラシ等作成</li> <li>令和4年度以降企画展の事前調査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度春季企画展の図録・ポスター・チラシ等作成</li> <li>令和5年度以降企画展の事前調査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度春季企画展の図録・ポスター・チラシ等作成</li> <li>令和6年度春季企画展の事前広報</li> <li>令和6年度以降企画展の事前調査</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度春季企画展の印刷物を制作し、会期以前に効果的に広報することができた。</li> <li>令和5年度以降の企画展における展示資料の選定を行うことができ、展覧会の質を上げることができた。</li> </ul>								
課題		国宝や重要文化財など魅力的な資料は早めに資料調査や借用交渉に動くことが大事であるが、2年後に開催予定の企画展までしか動いていないのが現状である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	事前調査を行っている次年度以降開催予定の企画展数（本）				—	6	6	6	9	
活動指標										
他市との比較検証	他施設より資料を借用する企画展を開催している岡崎市美術博物館や安城市歴史博物館では、2～3年後の企画展の事前調査を常に行っている。									
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	5,791	4,078	2,544	合計	4,078,073 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	614,130 円		
		一般財源	0	5,791	4,078	2,544	需用費	2,341,943 円		
	職員人件費 ②		0	1,393	2,063	2,786	委託料	1,122,000 円		
	総事業費（①+②）		0	7,184	6,141	5,330				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								